

政 策

税制改革「中期プログラム」を閣議決定

政府は昨年12月24日、消費税を含む税制抜本改革の道筋を示す「中期プログラム」を閣議決定した。消費税については、3年以内の確実な景気回復を前提条件に2011年度にも増税を可能にするとしている。プログラムを確実に実行するため、09年度の税制改正法案の付則による法制化も定めた。

持続可能な社会保障構築とその安定財源確保に向けた「中期プログラム」(抜粋)

Ⅰ、景気回復のための取組

○政府・与党においては、景気回復期間中に、減税措置及び定額給付金を税制抜本改革を前提に時限的に行うことを含め、当面、総額75兆円規模の景気対策(安心実現のための緊急総合対策、生活対策及び生活防衛のための緊急対策)を着実に実施する。

Ⅱ、国民の安心強化のための社会保障安定財源の確保

安心強化の3原則

原則1、中福祉・中負担の社会を目指す。

原則2、安心強化と財源確保の同時進行を行う。

原則3、安心と責任のバランスの取れた安定財源の確保を図る。

1、堅固で持続可能な「中福祉・中負担」の社会保障制度の構築

○社会保障制度の財源(保険料負担、公費負担及び利用者負担)のうち、公費負担については、現在、その3分の1程度を将来世代へのつけまわし(公債)に依存しながら賄っている。こうした現状を改め、必要な給付に見合った税負担を国民全体に広く薄く求めることを通じて安定財源を確保することにより、堅固で持続可能な「中福祉・中負担」の社会保障制度を構築する。

2、安心強化と財源確保の同時進行

○年金、医療及び介護の社会保障給付や少子化対策について、基礎年金の最低保障機能の強化、医療・介護の体制の充実、子育て支援の給付・サービスの強化など機能強化と効率化を図る。

3、安心と責任のバランスの取れた財源確保

○社会保障安定財源については、給付に見合った負担という視点及び国民が広く受益する社会保障の費用をあらゆる世代が広く公平に分かち合う観点から、消費税を主要な財源として確保する。

Ⅲ、税制抜本改革の全体像

経済状況の好転後に実施する税制

抜本改革の3原則

原則1、多年度にわたる増減税を法律において一体的に決定、段階的に実行する。

原則2、予期せざる経済変動にも柔軟に対応できる仕組みとする。

原則3、消費税収は、確立・制度化した社会保障の費用に充てることにより、すべて国民に還元する。

1、税制抜本改革の道筋

○今年度を含む3年以内の景気回復に向けた集中的な取組により経済状況を好転させることを前提に、消費税を含む税制抜本改革を2011年度より実施できるよう、必要な法制上の措置をあらかじめ講じ、2010年代半ばま

で段階的に行って持続可能な財政構造を確立する。

○改革の実施に当たっては、景気回復過程の状況と国際経済の動向等を見極め、潜在成長率の発揮が見込まれる段階に達しているかなどを判断基準とし、予期せざる経済変動にも柔軟に対応できる仕組みとする。

○消費税収が充てられる社会保障の費用は、その他の予算とは厳密に区分経理し、予算・決算において消費税収と社会保障費用の対応関係を明示する。

2、税制抜本改革の基本的方向性(略)

Ⅳ、今後の歳出改革の在り方(略)

Ⅴ、中期プログラムの準備と実行

準備と実行に関する原則

原則1、税制抜本改革の実施時期に先立ち、制度的準備を整える。

原則2、「中期プログラム」を確実に実行するため、税制抜本改革の道筋を立法上明らかにする。

○2009年度(平成21年度)の税制改正に関する法律の附則において、前記の税制抜本改革の道筋及び基本的方向性を立法上明らかにする。

○基礎年金国庫負担割合の2分の1への引上げについては、2004年(平成16年)年金改正法に沿って、税制抜本改革により所要の安定財源を確保した上で、恒久化する。

現 地 レ ポ ー ト

町村独自のまちづくり

うるおい・やすらぎ。
人がきらめくまち えいへいじ

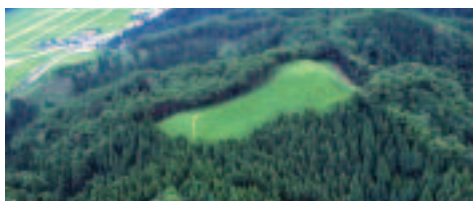
はじめに

永平寺町は、平成18年2月13日に「松岡町」「永平寺町」「上志比村」の町村合併により新『永平寺町』として生まれ変わりました。福井県嶺北地方のほぼ中央に位置し、東西15・5km、南北約10・5km、総面積94・34km²、人口は約2万人です。南と西は県都福井市、東は勝山市に、北は坂井市にそれぞれ接し、東は白山連峰を望み、四季を彩る山々に三方を囲まれた町です。

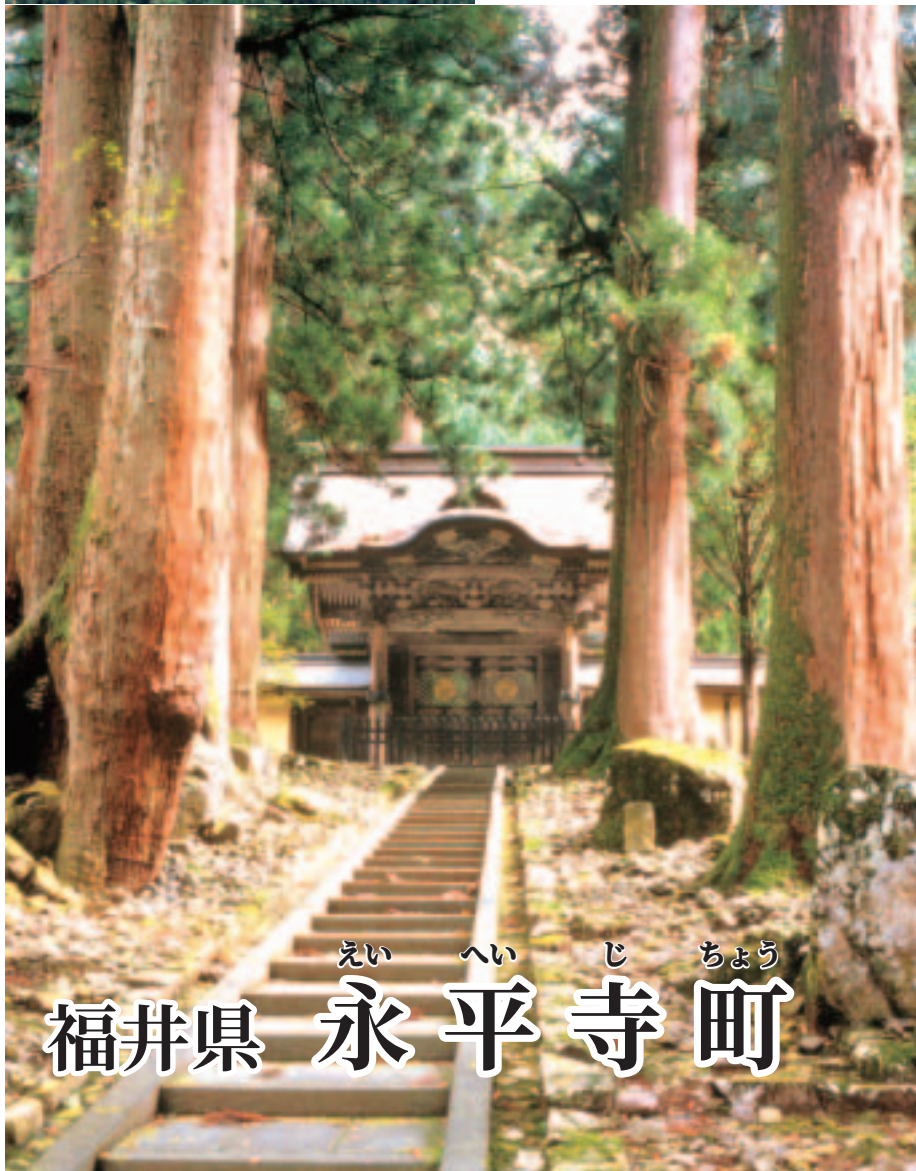
町内の中央を福井県最大の河川・九頭竜川が東西に流れ、これに平行して東西に国道416号線とえちぜん鉄道が走り、南側の大本山永平寺から北に通る国道364号線とが町の中央で交差しており、交通の要所となっています。また、西部には北陸自動車道が南北に通っており、福井北ICが近くに位置しています。このほか、福井北JCTより長野県松本市に至る中部縦貫自動車道も早期完成を目指し着々と工

事が進められています。

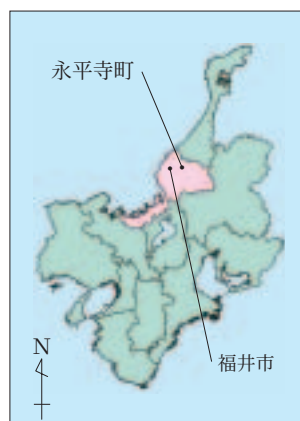
本町には、多くの鮎釣り客が訪れる清流九頭竜川や緑豊かな浄法寺山など自然資源が豊富にあり、禅道場の曹洞宗大本山永



▷手繰ヶ城山古墳

えい へい じ ちょう
福井県 永平寺町

▷曹洞宗大本山永平寺の唐門



フォーラム

▷九頭竜川での鮎釣り



報告信 物産品の研究開発 観

主な取組としては、禅体験食
体験（精進料理）等による受入
体制の整備 県内外に向けた情

報発信 物産品の研究開発 観
の心を通して地域特性を活かし
た「永平寺ブランド」の創造に
取組みました。

永平寺町観光物産協会は、平
成17年から19年の3カ年、県町
の補助を受けた地域ブランド創
造活動推進事業により、「永平
寺の禅空間・体験における癒し
の追求」「食料と健康による癒し
の追求」「新しい文化と伝統の融
合」を切り口に、「永平寺ブラン
ド」復活を核にした癒しの地を
目指しました。また、特産品・
物産品の研究販売、おもてなし

の心を通して地域特性を活かし
た「永平寺ブランド」の創造に
取組みました。

当町にある手繰ヶ城山古墳・石舟山
古墳・鳥越山古墳・二本松山古墳は北
陸最大級の前方後円墳で国指定の史跡

歴史浪漫に思いを
馳せる観光資源

平寺や吉峰寺・天龍寺 越の国伝説に
まつわる松岡古墳群などの歴史文化資
源が数多くあります。また福井大学医
学部・福井県立大学を始めとする各種
学術研究機関が立地するなど、文教環
境が整備された人の交流が盛んな町で
す。

癒しと体験の旅を求めて
「永平寺」

また、「曹洞宗大本山永平寺」は、鎌
倉時代に道元禪師が曹洞宗の出家参禅
の道場として開創し、現在も約200
名余の修行僧が厳しい修行に励んでお
り、全国各地から年間約60万人の観光
客が訪れています。

また、江戸時代に松尾芭蕉が奥の細
道の道中に立ち寄った寺として有名な
「天龍寺」があり、その時の句碑が芭蕉
塚として残されています。

夏の終わりを告げる風物詩

光客誘客として「永平寺花祭り」「永平
寺除夜の鐘イベント」「永平寺冬の燈籠
まつり」「旧永平寺線跡地ウォーキン
グ」「九頭竜川鮎茶屋開設」等を継続実
施し、年間約2万人の集客実績があり
ました。平成20年以降も、四季を通し
た継続事業として取組んでいくことと
しています。

・「えいへいじ大燈籠ながし」

毎年8月下旬に実施する「えいへい
じ大燈籠ながし」は、テーマ「愛
と感謝」の下、町のイメージ
アップと地域活性化を図るイベ
ントとして21回継続開催し、現
在に至っています。区長会、商
工会、観光物産協会など各種団
体の協力により、企画・準備・
運営などに多くの町民がかかわ
る事業です。実行委員会は、町
内外・全国から供養燈籠・願い
燈籠（約1万個）の申し込みを
受け付け、商工会、婦人会、老
人会の協力による帆書き、組立
作業を行い、当日ボランティア
・運営委員の手により、永平
寺河川公園特設祭壇に並べられ
ます。大本山永平寺の協力によ
り、150名の役寮雲衲衆らに
よる川施食法要が営まれた後
に、実行委員・参加者の手によ

▷ライトアップされた永平寺山門



◁永平寺花祭り甘茶



＜花祭りの賑わい＞



り燈籠が流され、川面に幻想的な光の帯がつくられ、その様は荘厳で見る人の心を和ませてくれます。

県外からのツアーバスや、当日宿泊参加者、えちぜん鉄道を利用した参加者も増加しており、このイベントによる観光・地域経済への貢献度が年々高まっています。

このイベントを企画運営するえいへいじ納涼まつり実行委員会は、平成18年度地域づくり総務大臣表彰を受け、永平寺町の知名度アップ、精神文化の聖地・永平寺、自然豊かな清流九頭竜川を全国に広めるべく頑張っています。

広域連携による観光振興

・観光地周遊バス

「永平寺・朝倉号」

福井市の戦国大名が築いた城下町跡・甕つた復元武家屋敷のある「一乗谷朝倉氏遺跡」と「大本山永平寺」を巡り、越前そば打ち体験&試食の出来る日帰りプランの観光周遊バスを、福井市と連携し平成19年度より運行しています。関西・中京方面からの誘客を推進するため、JR福井駅からの二次アクセスを整備することにより、永平寺町や福井市周辺にある観光資源をアピールし、参加された方々による情報発信等により今後の観光客増加が図られる事を狙っています。

・「永平寺おでかけ号」

福井県に隣接する石川県山中温泉観光協会は、永平寺門前観光協会との連携により、冬期間を除き毎日往復2便、山中温泉・永平寺直行バスを運行しています。国道364号線の整備により、永平寺から30分で山中温泉と結ばれるようになり、観光客の利便性が図られ好評を得ている状況です。

・「ふくいやまぎわ歴史街道 広域連携」

福井県内の越前市・鯖江市・福井市・

永平寺町・勝山市・大野市の6つの市町にまたがる地域連携により、「天下」

の地域資源を軸とした新たな観光ルートを確立させ、県内外からの誘客促進、滞在型観光客の拡大を図ることを目的として、広域連携協議会が設立されました。歴史・文化的価値の高い「天下」の地域資源に着目し、永平寺町の「大本山永平寺」、越前市の「越前打刃物・越前和紙」、鯖江市の「越前漆器」、福井市の「一乗谷朝倉氏遺跡」、勝山市の「県立恐竜博物館・平泉寺白山神社」、大野市の「越前おの」をつなぐ観光ルートを提案し、また情報発信することを主としてしています。協議会は地域の団体、事業所、各市町で構成され、会長は永平寺門前観光協会井上会長です。永平寺町としても観光・地域の情報提供や関係団体との連携により、永平寺町の魅力発信を進めていきます。

＜燈籠の組立＞



＜川施食法要＞



▷えいへいじ大燈籠ながし



フォーラム

▷永平寺朝倉号

特徴ある資源を
活かした取組

町には、かつて京福電鉄永平寺線があり、大本山永平寺のお蔭元まで電車

・越前日本海ハイウォークツアー
永平寺町を含む3市1町で構成する福井坂井地区広域市町村圏事務組合の広域観光事業として、9月にウォーキング大会が開催されました。
今回は、永平寺町を出発地ゴールとし、5km・15km・25kmの3コースに全国より約450名のウォーカーが集い、永平寺町内を散策ウォークしました。

▷跡地健康ウォーキング



が走っていました。これも平成14年に廃線となり、現在は砂利道の廃線跡となつています。この廃線跡地の沿線住民団体グループの協力を得て、町は永平寺線跡地利用活性化協議会と共催し、旧永平寺線跡地健康ウォーキングを春秋の年2回開催しています。2年前には、中京方面より3日連続、延べ800名の団体ハイキングツアーが組まれたことがあり、20年秋には、大阪方面より約160名の団体ツアー参加者があり、情報発信PRの効果を思い知らされました。町は、今後廃線跡地を遊歩道として整備する計画を進め、観光地永平寺と結びつけ跡地を有効利用していくこととしています。

◁アラレガコ



また、町を東西に流れる九頭竜川は、生息している魚の種類の豊かさは日本の河川の中でも有数と言われ、町内流域には清流の生き証人とも言われるアラレガコが棲み、その生息地は国の天然記念物に指定されています。2月にはサクラマス釣りが解禁し、6月のアユ釣り解禁とともに見られる長竿の放列は、夏の風物詩となっています。6月には、九頭竜フェスティバルを開催し、いかだ流し・チビッコ舟下りなど川辺に親しむイベントも行っています。

今後の課題

平成7年頃までは、大本山永平寺の参拝客は年間100万人を超えていましたが、近年60万人近くに減少し、各種施設やイベントによる集客を併せても平成20年観光客人込数は

これら九頭竜川、地鮎を活かし、釣り客や地鮎を食する方、川辺に親しむ方を受け入れるよう、地元漁業協同組合や町観光物産協会と連携しPR宣伝を実施しています。

70万人余の現状です。

観光客、宿泊滞在日数の増加を図ることは、永平寺町のみならず福井県全体の目標として取組まれ、観光振興業務に日々携わっています。隣接する市町や、圏域の観光地・自治体と連携し、ふくいブランドの推進や観光ニーズにあつた企画や情報を継続発信していくことが求められています。

先人から受け継がれてきた地域特有の歴史文化や資源を活かして、にぎわいのある活力豊かなまちづくりをめざすことにより、町の発展につながればと思っています。

(永平寺町商工観光課 山田 孝明)

▷あんどん山車



▷フランスの美しい田園風景



フランスの農業・農村・地域社会 ①

ライフスタイルとしてのオーガニック

NPO法人オーガニック協会 長谷川浩代

干草をまとめた円筒状の大きな塊が点々とする草原、のんびりと草を食む牛の群れ、山の上で放牧されるヤギや羊、延々と続くトウモロコシ畑、丘陵に青々と茂るブドウ畑、何百年も時を重ねてきたオリーブの樹、野山に実るベリー類、夏に南仏の畑や野山を埋め尽くすラベンダー、山道を歩けば芳香を漂わせるハーブの数々…数え上げればきりがなく、フランスの田舎を思うとき、浮かんでくる風景だ。



ヨーロッパ、特にフランスの農村に通うようになって、早くも10年以上の月日が経った。その間、私が一貫して変わらずに行っていることは、オーガニック農業を実践しているさまざまな地方の農家と交流していること、特に人里離れた山村を訪



長谷川浩代

(はせがわ・ひろよ)

1969年京都生まれ。食の世界への関心が高まり、98年7月～99年10月までフランスに滞在。アルプス、ブルゴーニュ、コートダジュールの農場やレストランで料理や接客、農場、牧場の生活を体験。その時の体験からオーガニックやオルタナティブな生活に目覚める。帰国後オーガニックワインの輸入と販売を手がけるマヴィィ(株)に就職。同時にNPO オーガニック協会(EUOFA)の事務局を務める。現在も毎年夏の3ヶ月は農場民宿で働くことを中心に、ヨーロッパのオーガニック農家を訪ね歩いている。

れていること、グリーンツーリズムの一環に携わっていること、そしてパリに代表される都市の人たちとの付き合いももちろんしているという点だ。京都で生まれ育ち、田舎や農村の暮らしをまったく知らず、何の予備知識もないまま、フランス人でさえ「ここは世界の果てだね!」と言うほどの辺境の地にいきなり足を踏み入れた私は、最初はただ広大な自然に圧倒されていただけだったが、



たつて、このキーワードを中心にEU、中でも主に私が直にたくさん目にしているフランスの農業、農村、地域社会について書いていきたいと思う。第1回目は「ライフスタイル、環境、農業」。

EUには、加盟国全体に共通する農業政策として、CAP(Common Agricultural Policy)＝共通農業政策と呼ばれるものがある。その指針に基づきアジェンダと呼ばれる計画が策定され、各国はその計画実行のためのさらなる計画を練ることとなる。そこで2大柱となっているのが、「環境農業政策」と「地方発展政策」である。「地方発展政策(Rural Development Policy)」は、「農村開発政策」と訳されている場合が多いが、取り組みを見る限り、決して

情 報

▷にぎわうオーガニックマルシェ(パリ)



▷ドイツのオーガニック農場



「農村を開発」している訳ではなく、地方が自立・発展していく道を模索し、その足がかりとなるための施策を実行し、それに対する助成金を出す仕組みである。よって、私は「地方発展政策」と訳語をあてているので、ご理解いただきたい。」

CAPには、1年あたり550億ユーロ(121円換算で約6兆7,000億円)がEUの予算から割り当てられている。これは、加盟国がそれぞれの国で多くを請け負う教育

や防衛、公衆衛生、社会保障といった部門と違い、EUレベルでの農業政策を推進したいというところからきている数字だ。具体的にはEUの住民が一人当たり1週間に約2ユーロを支払っている計算だが、「健康的な食品が安心できる形で供給され、地方がいつまでも生き生きと持続していくことを思えばまったく高いものではない。」と欧州委員会ははっきりとうたっている。実際EUの住民にとって、いつまでも美しく、活力のある地方(特に山岳や田

園地帯)というのは、非常に大きな関心事であることが、いくつもの調査結果として示されている。

EUの政策の特徴でもあるのが、柔軟に修正を加えていく点だ。CAPもこの10年で3度の修正が行われ、その都度住民のニーズに合うように発展してきている。あくまでも「生きている政策」であることが重視されているのだ。EU全体の住民のニーズを拾っていくうちにわかってきた、特に重要なポイントが、「食品の質を向上させること」「食の安全を保证すること」「地方社会の幸福に配慮すること」「次世代のために環境が確実に守られること」「家畜の健康や福祉を向上させること」である。CAPではこれが着実に反映され、「環境農業政策」と「地方発展政策」がEUの農業政策の中心に据えられている。

安全で質の高い製品を供給する一方で、環境を保護し、家畜の福祉も考える、そのような持続可能な農業を促進するうえで、ここ10年でも需要が非常に高まり、注目を浴びているのが、環境に配慮した農業で、公

◁ぶどうの収穫(ポルトガル)



的な認証制度を持ち、食卓からそれが育てられた土にまでさかのぼることができる「オーガニック農業(有機農業)」である。日本でも2006年末に有機農業推進法が成立し、2007年度より実際に予算もついてようやく本格的な取り組みが始まったが、国としての取り組みという点では、EUと比較すると少なくとも15年の開きがある。もっとも大きな差は、EUが単なる農法の1つとしてのオーガニックではなく、ライフスタイルとしてオーガニックをとらえているという点ではないかと思

情 報

う。つまり、「私の口に入る野菜には、農薬がかかっていないものが良い」という単なる目の前の食べ物だけの話ではなく、「いつまでもあの自然が、水が、空気が美しい状態で保たれ、次世代にまで、永続的に守られる必要がある。そのために、私は何をすれば良いか、何ができるのか？」と考え、暮らし全体を選択していく姿勢のことだ。安価だから、コマーシャルでやっているから、という選択ではなく、今もこれからも本当の意味で豊かな暮らしを守っていくには？ということを経験の中の判断基準にもつ人が急増しているのである。

英国では、そのような消費者のニーズを大手流通がすばやくつかみ、独自のブランド展開で、特に一次産品については、70%以上を地元のオーガニックのものという意欲的な目標を掲げて取り組んでいるスーパーなども次々と登場している。またEU各国でオーガニック食品に特化したスーパーが続々と誕生。実際、この10年間でフランスやドイツなどの都市部では、如実にわかるほど格段に目立つようになって

きた。フランスでは都市・地方を問わず、街角や市役所広場などで開かれるマルシェ（定期市場）が有名だが、その中でもオーガニックを掲げるスタンドが少なからず出てきたし、パリやリヨン、トゥールーズといった大都市ではオーガニック農産物だけのマルシェも登場して久しい。また、イタリアやフランスでは給食の原料に地元のオーガニック農産物を取り入れる自治体が増えている。給食は安定的に決まった数量が見込めるため、農家にとってもありがたい収入源となる。また生徒たちが実際に生産されている現場を訪



れ、学び、交流するという、教育にもつながる二次的効果も現れている。

さらには、村全体がオーガニック農業に取り組むことで、村おこしをしている自治体や、ワインの銘柄（例えばボルドーやブルゴーニュ）といったような呼称のことで、その銘柄にはオーガニックの生産者しか存在しないような地域も登場、枚挙に暇がないほどオーガニック農業や食品の取り組みが盛んになっている。

それは、多くの人のライフスタイルがそのようにスイッチしてきていることにほかならない。EUの多くの住民が自然環境にそのように関心を高めるのには理由がある。90%の土地がいわゆる都市ではない農村や山林に属し、そこに全体の人口の60%以上が暮らししている。また家族代々引き継いでいるような「田舎の家（別荘）」をたいていの人は持っている、ごく自然に、とても気軽に休暇には地方に出て行く習慣があるからだ。このあたりの余暇の過ごし方と農村の関係については、次回に話したいと思う。

季節の俳句カレンダー

寒鯉や無念無想が沈みおり

高桑弘夫

季語「寒鯉」は文字どおり寒中の鯉。鯉は川や池で元気に泳ぎまわり、威勢の良い魚として五月の節句には子供の健やかな成長と将来の出世を願い、鯉のぼりを立てる習慣が古くからある。その鯉もさすがに真冬の寒さの中では動きが鈍くなり、川や池の底でじっとしている時間が長くなる。「無念無想」とはその様子を巧みに表現していると思うが、特に「無念無想が」と主格的に表現したことで作者自身の心情を鯉に託したのではないだろうか。

福寿草眩しき娘等の膝頭

下川初秋

季語は「福寿草」。別名を「元旦草」とも言い、歳事記では新年に分類されている。正月の飾りつけの中では謂わば脇役で、窓辺などで密かに役割を果たしている。年末の正月用品を売る店でも「福寿草」の鉢が年迎えの雰囲気助けており、それを買う客も屈んで見定めようとする。

この句は新年のことかあるいは暮れの店の光景か定かではないが、何人かの娘さんが花の咲き加減を楽しんでいる様子を見た年輩の女性が詠んだもので、「眩しき」には若さを羨ましく思う気持ちがうかがえる。

冬桜男の顔は履歴書と

中澤康人

季語は「冬桜」。桜は本来春の代表的な季語だが、早咲き品種の中には緋寒桜などのように正月の彩りとなり「元旦桜」と呼ばれるものもある。

「男の顔」は、歳を重ねると人の顔にはその人の過去の体験が滲んで人相にも現れる、と言われていることが前提にある。「履歴書」とは全く単刀直入にそれを表現している。女性のように化粧で隠せない男ならではの見た目の感じと、新年で歳を重ねたことが、あたかも履歴の一頁を増やしたかの印象を与えて微妙に働いていると思う。

情 報

町村Navi

町村Naviコーナーでは掲載情報を募集しています。
掲載をご希望の場合は全国町村会広報部
(TEL03-3558110486)まで。

北海道 上士幌町

ブログポータルサイトで リアルタイムに情報発信

町は昨年12月から、リアルタイムな情報発信などを目的に、ブログポータルサイト「かみしほろん」を運営している。自治体運営のブログポータルサイトは、和歌山県北山村の「村ぶろ」などがあるが、まだ全国的に珍しく、道内では初めてだという。情報発信力を強化するとともに、同町ファンを開拓し、観光客の誘致や特産品販売の拡大などを旨とする。

同サイトは、住民など誰もが無料で利用できるが、ブログを開設するにはメールアドレスなどの登録が必要。昨年12月19日現在で約50人が登録しており、同町の竹中貢町長も頻繁にブログを更新している。

このほかポータルサイトには、地図上にイベント・施設情報などを登録できる「ロコミマップ」機能があり、北山村の「村ぶろ」や静岡県の「ゆとりすと静岡」との共有マップを用いているため、様々な地域の登録情報を一覧することができる。

なお、町は、31日までにブログの開

設や記事の投稿をしたユーザーの中から抽選で5名に、町の特産品を贈呈する「ブログをつくらう」キャンペーンを行っている。

栃木県 那須町

廃食用油を燃料に 公用車を運行

町は、町立小中学校の給食施設などから出る天ぷら油など廃食用油をリサイクルしたバイオディーゼル燃料（BDE）を精製。昨年11月20日に同燃料を使用する町の公用トラック2台で出発式を行った。現在、清掃センターへの廃棄物回収などに活躍している。

2007年に町が策定した「バイオマスタウン構想」の一環。町では、さらに地域で栽培した菜の花から菜種油を採取し給食

用にも活用するとともに、その廃油もBDF化するなど資源循環型社会の構築に向け新たな取組もはじめる予



定

廃食用油は、学校等のほか町のスーパー等に設置した「回収ボックス」から一般家庭の廃食用油を回収し、第三セクターで精製。それを町が1リットル110円で買取る仕組み。今後、年間8,000リットルの廃油を回収し、7,000リットルを精製。来年度からは、対象車を3台に増やす予定。

根県 島根町

高齢者ボランティア 活動に商品券

町は65歳以上の元気な高齢者が地域や施設で行う様々なボランティア活動でポイントを集めると商品券と交換できる「介護支援ボランティア活動制度」をはじめた。元気な高齢者に地域貢献してもらうとともに、その参加活動が高齢者自身の介護予防にも役立ち、さらにポイント制で実質的な介護保険料の軽減にもなる一石三鳥を狙ったもの。

対象は町在住の65歳以上の高齢者で、ボランティア活動は「地域活動」「施設活動」の二種類。具体的には、ミニデイスサービス等の体操指導や老人クラブで行う行事企画、介護保険施設や保育所、学校等での話し相手や趣味活動の指導、読み聞かせ、施設周辺の草刈りなどを想定。町が指定した施設等で活動してもらう。ボランティア活動1回（2時間以内）に10ポイントを付与し、一定ポイントたまると町商工会発行の商品券と交換（上限5,000円）できる。登録高齢者はまだ10人だが、町では

3年目に150人の登録を見込んでおり、元気な高齢者が地域に貢献する「介護支援ボランティアのまち」を目指す。

熊本県 熊甲佐町

定住促進等で住民から 提案募集

町はこのほど、2009年度から実施する事業として、定住促進と特産品開発について住民から提案を募集した。「夢と希望を持てるまち」に向け、希望事業を求めているが、「純然たる住民」からは応募がなく、町職員（町民）から計8件の提案があったという。

町は、07年度から随時「教育」や「健康福祉」「安心・安全」などまちづくりの住民提案を受け付けているが、今回はそれに併せ、定住と特産品の2テーマについて昨年10・11月に提案を求めている。

その結果、子育て支援など定住促進に8件提案された。その中では、町は現在第三子以降に10万円の祝い金を出しているが、提案では小学校・中学校入学時の援助金や未就学児の予防接種費用の助成、保育料の減額などが出た。また、町外から町内に家を建てる場合に100万円などの定住助成金を出しているが、その充実も要請。さらに、インターネット環境が脆弱なことから役場にすれば無線利用できるようにすることも提案された。

町は年明け早々にも「住民提案審査委員会」を開き、提案の採否を検討する方針。

情 報

アインシュタインのエピソード

国際人事研究所 所長 太田 隆次

アインシュタインには偉大な天才ゆえに多くのエピソードが伝えられている。最近、原子物理学やノーベル賞が話題になっていることもあり、あまり知られていない、心温まるエピソードを少し紹介しよう。

▽まだノーベル賞受賞が決まっていなかった一九一九年に、事情があつて離婚することになった妻への条件に「ノーベル賞が取れたら慰謝料として賞金を全額渡す」というのがあつて、離婚二年後の一九二二年にノーベル賞を受賞し、約束通り賞金を全額渡した。

▽滅多に笑顔を見せることがなかったのに、舌を出した写真をよく見かけると、あれは本当の写真である。一九五一年三月一四日の七十二歳の誕生日にカメラマンに「笑って下さい」と言われて、舌を突き出すポーズを取り、アイ

ンシュタインも大変、気に入って九枚焼き増して親しい人々に配ったという。この写真は一九五一年度のニューヨーク新聞写真家賞のグランプリを受賞、またアメリカの切手にもなり有名になった。

▽数字や記号を記憶することが大の苦手で、記者会見で光速度の値を答えられず、記者から笑われた時、「本やノートに書いてある数字をどうして憶えないといけないのかね」とやりかえした。

▽相対性理論について聞かれ「寒い時に熱いストーブに一人で手をかざしている一分間は時間ぐらいに長く感じますが、美人と一緒にだとい時間が一分間と短く感じられますね。これが相対性理論です」と答えた。

▽バイオリンの名手で、一九二一年に日本に来た時、日本式の宴会で、「安来節」と「どじょうすくい」を見せて貰ったお礼にとバイオリンで数曲を演奏したことがある。「どじょうすくい」とバイオリンの組み合わせが面白い。

▽モーツァルトが大好きで、ある雑誌のインタビュで「あなたにとつて死とは」と尋ねられて「それはモーツァルトが聴けなくなることです」と答えている。

▽来日中に人力車に乗ることをすすめられたが、非人道的奴隷労働と乗車を断わった。

▽同じノーベル物理学賞受賞の湯川秀樹博士と面会した時、原子爆弾開発に関与したことを悔やみ、涙ながらに謝罪したといわれる。

▽一九五五年四月一八日にプリンストンの病院で亡くなったが、遺志により墓や記念館を建ててはならない、火葬にして遺灰は空中にばらまくこととされた。

アインシュタインの素顔が垣間見られるシーンの数々である。

都道府県別市町村数

(平成21年1月1日現在)

都道府県	町	村	町村計	市	計	都道府県	町	村	町村計	市	計	都道府県	町	村	町村計	市	計
北海道	130	15	145	35	180	富山県	4	1	5	10	15	岡山県	10	2	12	15	27
青森県	22	8	30	10	40	石川県	9	0	9	10	19	広島県	9	0	9	14	23
岩手県	16	6	22	13	35	福井県	8	0	8	9	17	山口県	7	0	7	13	20
宮城県	22	1	23	13	36	長野県	25	37	62	19	81	徳島県	15	1	16	8	24
秋田県	9	3	12	13	25	岐阜県	19	2	21	21	42	香川県	9	0	9	8	17
山形県	19	3	22	13	35	静岡県	14	0	14	23	37	愛媛県	9	0	9	11	20
福島県	31	15	46	13	59	愛知県	24	2	26	35	61	高知県	17	6	23	11	34
茨城県	10	2	12	32	44	三重県	15	0	15	14	29	福岡県	34	4	38	28	66
栃木県	17	0	17	14	31	滋賀県	13	0	13	13	26	佐賀県	10	0	10	10	20
群馬県	16	10	26	12	38	京都府	10	1	11	15	26	長崎県	10	0	10	13	23
埼玉県	29	1	30	40	70	大阪府	9	1	10	33	43	熊本県	25	8	33	14	47
千葉県	17	3	20	36	56	兵庫県	12	0	12	29	41	大分県	3	1	4	14	18
東京都	5	8	13	26	39	奈良県	15	12	27	12	39	宮崎県	18	3	21	9	30
神奈川県	13	1	14	19	33	和歌山県	20	1	21	9	30	鹿児島県	23	4	27	18	45
山梨県	9	6	15	13	28	鳥取県	14	1	15	4	19	沖縄県	11	19	30	11	41
新潟県	7	4	11	20	31	島根県	12	1	13	8	21	合 計	805	193	998	783	1,781

随 想

随 想

宮崎県諸塚村長 成崎 孝孜

自然の摂理に学ぶ



私達の村諸塚村は、宮崎県の北西部にあり東は大分県に、西は熊本県に程近い位置にあります。九州の屋根と云われ標高一、〇〇〇m級の山々が聳え立ち、その中で諸塚村を代表する霊山「諸塚山」のことを、日向地誌によると「満山樹木翁鬱（うつそう）地勢峻僻（けんぴ）樵夫（きこり）獵師に至るに能はざる処多し」とあります。山ひだは重り合い無数の沢が幾筋もの溪流となつて七ツ山川、柳原川の二つの川に注ぎ込んでいます。村の面積は一八七平方キロメートルの九五％が森林で耕地は僅か一％にも満たず、市町村の形態別では純山村で、その山々の麓から中腹迄、つまり標高で云えば七五〇m〜一、〇五〇mのところに八十程の集落が村内一円に点在しています。そこに住む人々が豊かな自然に心身の甦りを強く実感するのは、その地方の風土ゆえのことであるうと思ひます。

人類の文化は森林から生れたと云われます。それ故に、そこに住む人達は森（自然）に対する畏敬の念は、殊更に強いものがあります。人口も最近では二、〇〇〇人を割り込み、平成十九年度予算の決算では四一億八千万という過疎の村です。

最近になつてよく思うことは、このような村に人類が住みついたのは、一体いつ頃のことであろうかということ。それを説明できる資料がないだけに、住宅跡とみられる洞穴や遺跡とか、学問的に調査された資料によって推測するしか方法がありません。それ等によると少なくとも一五、〇〇〇年〜二〇、〇〇〇年前から既に人類生活があつたものと考えられます。まだ耕作することを知らず自然の果実や鳥獣を食料として生活していたであろう古代人にとっては、この恵まれた自然の山野が生活の宝庫であつたことは、昔に遡ればさかのぼる程、豊かであつた筈であります。

日本建国神話の目玉ともいふべき天孫降臨の物語の中で、皇室の遠祖・瓊々杵尊（にぎのみこと）が最初に降り立ったところは、日向の高千穂と

「古事記」にも明記してあり、我々の住んでいる諸塚村も、その高千穂の中にあるので、天孫降臨の神話はよごとではなく、いずれにしてもこの山岳地帯に日本民族の発祥はあつたと考えて良いのではないだろうか。

時は移り、今や人類は衛星で宇宙に旅する時代となりました。弱肉強食の関係は、地球誕生以来、四六億年続いていると云われる今、地球上で最も大きな力と知恵を持つているのは、勿論、我々人類であることは間違いないありません。地球の未来を考え、限られた資源を活用しながら豊かな暮らしを維持するためエネルギー確保に取り組んでいます。裏を返せば地球は人類の力で良くも悪くもなります。その過程で私達が守らなければならないこと、それは地球の生態系を破壊せず、弱い動植物の生息環境を脅かしてはならないことです。

今迄に市場経済中心に発展して来た日本社会は、今後どうなっていくのだろうか？

このままの社会が続くと、自然破壊は勿論、都市と中山間地の格差は益々開くことになり、均衡ある国の発展は望めないのではないだろうか。

今、過疎の集落は全国で約六二、三〇〇のうちの限界集落と云われるものが約七、九〇〇（宮崎県では「いきいき集落」という）あり、将来無人化して

消滅の恐れのある集落は二、六〇〇あり、国土を保全していくことさえ懸念されています。我々の住んでいる集落は生きものであります。戸数や人口、高齢化比率といった数値だけでは到底その価値は測れないと思います。そこには人と人の付き合いや様々な生きる術や文化が息づいております。

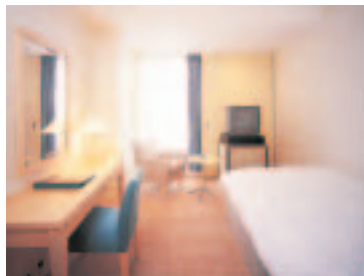
明治の文豪徳富蘆花は、すでにあの時代に「国家の実力は地方に存す。地方の生血新鮮ならば一國も又元氣旺盛となる。黙って働く自然の力にしみじみ感謝せずにはいられない、都市に健全な血液を送るのは地方の責任」と述べています。

多くの都市が河口に形成されております。河口が健全であるためには、その上流を如何に健全に保つかを、河口に住む人々を含めて考え見る必要があると思います。

地球を守り国土を保全しながら、安心安全な社会を形成しそれを守っていくためには、上流に住んで直接森（自然）を守っている人も、その恩恵を受ける川下の人達も同じ気持ちで自分達が住んでいる、かけがえのない国土をしっかりと見つめていかねばならないと思います。それは、氣息奄々としてではなく、ゆつたりとした思いのできる過疎地の再生をはかることではないかと思うこの頃であります。

ゆとりとやすらぎのひととき

静かさと心地よさに配慮し、室内インテリア全体を落ち着いた雰囲気にもとめ、ゆったりとしたやすらぎのひとときをお届けいたします。



▲洋室シングル



▲洋室ダブル



▲洋室ツイン

土・日・祝日はリーズナブルに

- 土・日・祝日のご宿泊は、**平日料金の20%OFF**でご利用いただけます。
- 金曜のご宿泊は、**平日料金の15%OFF**でご利用いただけます。
- 和室もございます。お問い合わせ下さい。
- 禁煙ルームをご用意いたしました。

シングル 119室 平日料金 9,817円より
金曜日料金 8,344円より
土・日・祝日料金 7,854円より

ダブル 12室 平日料金 13,282円 2名利用 ※1名利用の場合11,072円
金曜日料金 11,289円 ※1名利用 9,326円
土・日・祝日料金 10,626円 ※1名利用 8,778円

ツイン 17室 平日料金 18,480円より 2名利用
金曜日料金 15,708円より
土・日・祝日料金 14,784円より

全国町村会館へのアクセスガイド

- 有楽町線・半蔵門線・南北線「永田町」 3番出口徒歩1分
- 丸の内線・銀座線「赤坂見附駅」徒歩5分
- タクシー 東京駅から約20分

市町村職員共済組合等の宿泊助成券がご利用いただけます。



優良防火対象物認定表示制度
による優良防火対象物として
認定されました

(第0708-102-004)

ご宿泊の予約が、全国町村会館のホームページからお申し込みいただけます。

ご予約・お問い合わせは

<http://www.zck.or.jp/kaikan/index.html>



全国町村会館

TEL:03(3581)0471

FAX:03(3581)0220

〒100-0014 東京都千代田区永田町1丁目11番35号